

平成27年度 当初予算の概要

～持続可能な都市を目指して～



■27年度当初予算

○予算編成の基本方針

平成26年度当初予算で示した「リ・スタート」の考え方にに基づき、将来を見据えた必要な事業実施と健全財政維持の両立を目指します。

- ・行財政改革の推進と施策の選択と集中により、引き続き無駄を排除した予算編成に取り組みます。
- ・市債残高を確実に減らし、基金残高を確保することにより、財務体質を強化します。
- ・後期実践計画事業は、ローリングと予算編成が一体となって、効率的な事業の実施を実現します。
- ・普通建設事業費は、限られた財源の中でも300億円以上を確保します。

○重点取組施策

- ① “暮らし満足都市”創造プログラム
- ② “環境先進都市”加速プログラム
- ③ “ものづくり中枢都市”進化プログラム
- ④ “命を守る安全・安心都市”実現プログラム

一般会計当初予算額 1,787億円

■①暮らし満足～WE LOVE とよた～

(1) 地産地消、観光、地域

新規 ◆プレミアム付商品券の発行補助 2.7億円 (平成26年度3月補正予算対応分)

発行総額約13億円の予定

新規 ◆製材工場の誘致 ※ 0.5億円

事業主体の公募・選定、用地造成の実施設計など

◆獣肉活用施設の建設補助 0.4億円

足助地域に予定している獣肉活用施設建設に補助

新規 ◆徳川家康公400年祭への支援 0.5億円

松平郷を中心とした観光誘客の促進を支援

「(仮)家康の遺宝展」を開催

拡充 ◆新・豊田市誕生10周年プロジェクト 1.0億円

「市民発！まちづくりシン展事業」を実施

[記念事業]

□とよたガーデニングフェスタ・都市緑化フェア同時開催 □香嵐溪もみじまつり60周年
□全国各地芝居サミット □地区対抗駅伝競走大会 □未来に残したい豊田の風景展 など

◆おいでん・さんそんセンターの運営 0.2億円

都市部と農山村部の交流のコーディネートを推進



(松平の観光)



「※」の事業は、施策別事業集に「主要事業の紹介」(詳細資料)ページあり

2

■①暮らし満足～WE LOVE とよた～

(2) 歴史・文化・芸術・スポーツ、魅力発信

拡充 ◆ラグビーワールドカップ2019 ※ 0.2億円

愛知県と連携した県下全域でのPR活動や、ラグビーの普及活動などを実施

新規 ◆スポーツコミッションの推進 ※ 0.1億円

大型スポーツイベントとまちづくりを一体的・戦略的に取り組むため、方針と推進体制を検討

新規 ◆歌舞伎伝承館の整備 0.1億円

旧小原保健センターを改装するための実施設計など

新規 ◆徳川家康公400年祭への支援 《再掲》

◆とよたデカスプロジェクト 0.1億円

地域資源(自然・歴史・文化など)を活用した文化芸術事業を支援

◆高等学校魅力発見フェスタの開催 0.1億円

市内公立高等学校の特色を紹介し、中学校と高等学校の連携を推進



(ラグビーワールドカップ2019
日本vsニューージーランド
©JRFU photo by H.Nagaoka)



(小原歌舞伎)

「※」の事業は、施策別事業集に「主要事業の紹介」(詳細資料)ページあり

3

■②環境先進

拡充

◆エコファミリー支援補助金等 2.1億円

次世代自動車の外部給電機器への補助を開始

[補助事業]

- 次世代自動車（燃料電池自動車、プラグインハイブリッド車、電気自動車）
- 住宅用太陽光発電システム 家庭用燃料電池
- 家庭用リチウムイオン蓄電池 家庭用エネルギー管理システム（HEMS）

拡充

◆とよたエコフルタウンの充実 0.1億円

展示を一部更新し、最先端の環境技術を紹介

拡充

◆水道水源保全事業 ※ 0.9億円

水道水源林の市有地化と間伐を促進

間伐と水量・水質との関係をモニタリング

◆環境学習の推進 1.6億円

環境学習施設eco-T(エコット)や自然観察の森を拠点に
様々な学習プログラムを実施

◆とよたエコポイントの推進 0.9億円

エコポイントの発行メニューや交換メニューを充実



(とよたエコフルタウンに導入
予定の「触れる地球」)



(エコファミリーカード)

「※」の事業は、施策別事業集に「主要事業の紹介」（詳細資料）ページあり

4

■③ものづくり

新規

◆(仮)ものづくり創造拠点の整備 ※ 1.0億円

ものづくり中小企業によるイノベーションの創出と、次代
のものづくりを担う技術者の育成を行う拠点を整備

◆企業誘致推進補助 9.4億円

1事業所につき最大10億3千万円(総額)を補助

拡充

◆新たな産業用地の整備 0.1億円

花本産業団地の拡張や南部地域での産業用地整備を推進

拡充

◆都心環境計画の推進 ※ 1.5億円

都心環境プランを策定

◆駅前通り北地区の市街地再開発 ※ 81.4億円

平成29年に再開発ビル完成予定

◆区画整理の推進 60.4億円

土橋、寺部、花園、浄水、平戸橋、四郷駅周辺の各地区

新規

◆若林駅付近の鉄道高架化の推進 ※ 0.2億円

名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業を推進



(ものづくり技術者の育成支援)



(豊田市駅東西の公共空間再整備
イメージ)

「※」の事業は、施策別事業集に「主要事業の紹介」（詳細資料）ページあり

5

■④安全・安心

- | | | |
|----|--|--------|
| 拡充 | ◆交通安全啓発活動 ※ | 4.1億円 |
| | 5月に(仮)交通安全フェスタをスカイホールで開催など | |
| 拡充 | ◆自転車の通行環境の整備 | 0.3億円 |
| | 自転車通行空間を2路線に整備 | |
| 拡充 | ◆地震ハザードマップの全戸配布 | 0.1億円 |
| | 地震ハザードマップを新たに作成し、全戸配布 | |
| | ◆一級河川安永川の改修 | 19.9億円 |
| | 今・秋葉工区開水路の工事(平成27年度完了予定) 高橋細谷線関連開水路の用地買収や工事 | |
| | ◆防犯カメラの整備 | 0.5億円 |
| | 自治区や商店街などに設置費を補助。公共施設に整備 | |
| | ◆犯罪のないまちづくり活動の支援 | 0.7億円 |
| | 深夜巡回パトロールの実施など | |
| 拡充 | ◆消防施設の充実・強化 | 3.3億円 |
| | 消防車両、耐震性貯水槽、消防団デジタル簡易無線機などを整備 | |



(交通安全フェア2014)



(防犯パトロール)

「※」の事業は、施策別事業集に「主要事業の紹介」(詳細資料)ページあり

6

■ライフステージに応じた施策①

(1)乳幼児・園児

- | | | |
|----|---|--------|
| | ◆妊産婦・乳幼児の健診 | 5.5億円 |
| 新規 | ◆予防接種の拡充 ※ | 0.6億円 |
| | おたふくかぜ、B型肝炎、ロタのワクチン接種の助成を開始。B型肝炎は県内で初めて実施 | |
| | ◆子ども医療費の助成 | 21.1億円 |
| | 中学生までの医療費無料化を継続実施 | |
| | ◆寺部こども園の移転新築 | 8.7億円 |
| | 木造で園舎を整備(平成28年4月開園予定) | |
| 拡充 | ◆私立こども園等施設整備の補助 | 5.6億円 |
| | 私立こども園1園と、私立幼保連携型認定こども園に移行する3園に対して、施設整備費を補助 | |
| | ◆食育の啓発と推進 | 0.1億円 |
| | 親子食育講座や園訪問を実施。第3次食育推進計画を策定 | |



(健診の様子)



(寺部こども園・寺部小学校完成イメージ図)

「※」の事業は、施策別事業集に「主要事業の紹介」(詳細資料)ページあり

7

■ライフステージに応じた施策②

(2) 児童・生徒・青年

- 拡充
- ◆いじめ不登校問題対策 1.7億円
いじめ問題や不登校問題の取組体制強化
- 拡充
- ◆共働の学校づくり 0.2億円
学校支援地域本部の設置校を拡大
- 拡充
- ◆家庭教育の推進 0.1億円
全小中学校の保護者に家庭教育手帳「親ノート」を配付など
- ◆寺部小学校の移転新築 26.7億円
こども園と合築し、木造で校舎を建築(平成28年4月開校予定)
- ◆(仮)第2梅坪台中学校・交流館の新築 22.2億円
中学校と交流館を合築(平成28年4月開校・開館予定)
- 新規
- ◆若者サポートステーション ※ 0.1億円
(新)青少年センター内に窓口を設置(平成27年4月開設)
- 拡充
- ◆予防接種の拡充 ※ 0.2億円
麻疹・風しんのワクチン接種対象年齢を拡大



(親ノート低学年版)



(仮)第2梅坪台中学校・交流館完成イメージ図

「※」の事業は、施策別事業集に「主要事業の紹介」(詳細資料)ページあり

■ライフステージに応じた施策③

(3) 高齢者(健康長寿の支援)

- ◆豊田ヤングオールド・サポートセンターの運営 0.1億円
生きがいづくりに関する情報提供や高年大学の運営
- ◆老人クラブへの支援 0.5億円
老人クラブ・連合会への補助や作品展覧会の開催支援
- ◆健康づくり活動の促進 0.1億円
仲間と取り組む「健康づくり宣言プロジェクト」を実施
- ◆ウォーキングの推進 0.1億円
講習会への講師派遣やウォーキングイベントなどを実施
- ◆マレットゴルフ場の整備 0.3億円
四郷:移転に係る設計 高岡:クラブハウスの整備
- 拡充
- ◆予防接種の拡充 ※ 1.5億円
高齢者用肺炎球菌のワクチン接種対象年齢を拡大
- ◆地域包括支援センターの運営 6.1億円
- ◆特別養護老人ホーム建設の補助 3.1億円
猿投地区、藤岡南地区の2施設の整備に補助



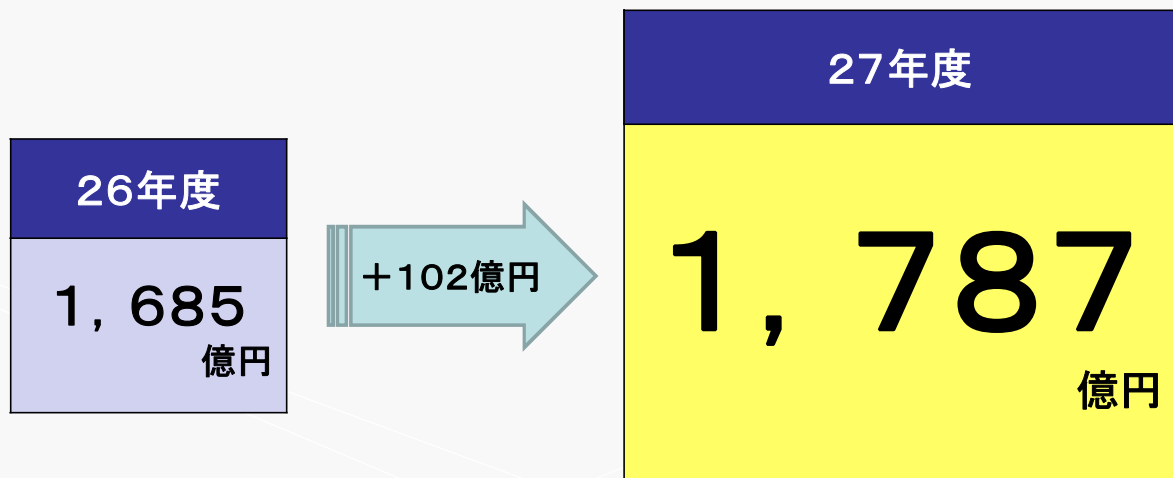
(ウォーキングの様子)



(地域包括支援センター)

「※」の事業は、施策別事業集に「主要事業の紹介」(詳細資料)ページあり

■27年度一般会計当初予算の総額



※27年度当初予算は過去最高額

10

■前年度比較＜性質別内訳＞

・普通建設事業費が増加

(単位: 億円)

| 性質名 | 27年度 | 26年度 | 増減額 | 主な事業 |
|----------------|------------|------------|-------------|------------------|
| 人件費 | 312 | 302 | +10 | 一般職人件費など |
| 物件費 | 308 | 299 | +9 | 施設管理費、予防接種費など |
| 扶助費 | 263 | 259 | +4 | 児童手当・障がい福祉介護給付など |
| 補助費等 | 190 | 202 | △12 | 補助金・負担金など |
| 普通建設事業費 | 433 | 303 | +130 | 駅前通り北地区市街地再開発など |
| 公債費 | 137 | 144 | △7 | 市債の元利償還金 |
| その他 | 144 | 176 | △32 | 特別会計繰出金など |
| 合計 | 1,787 | 1,685 | +102 | |

11

■前年度比較<普通建設事業費>

・ハード整備は「総仕上げ」と「新たな展開」の年

○433億円 (26年度 303億円)

①総仕上げ(27年度完成)

※()内は前年度比較

| | |
|------------------|-------------|
| ・寺部小学校 | 27億円(+21億円) |
| ・寺部こども園 | 9億円(+ 7億円) |
| ・(仮)第2梅坪台中学校・交流館 | 22億円(+ 8億円) |
| ・前林交流館 | 8億円(+ 7億円) |
| ・美和住宅 | 10億円(+ 8億円) |

②計画的な実施

| | |
|-------------------------------------|-------------|
| ・駅前通り北地区の市街地再開発 | 71億円(+64億円) |
| ・区画整理の推進 (土橋、寺部、花園、浄水、平戸橋、四郷駅周辺) | 50億円(+21億円) |

③新たな展開

| | |
|-----------------|-------|
| ・製材工場の誘致 | 0.5億円 |
| ・都心環境計画の推進 | 1.5億円 |
| ・若林駅付近の鉄道高架化の推進 | 0.2億円 |

12

■前年度比較<財源内訳>

・国庫補助金等の有効活用により、一般財源は26年度と同額程度を維持

(単位:億円)

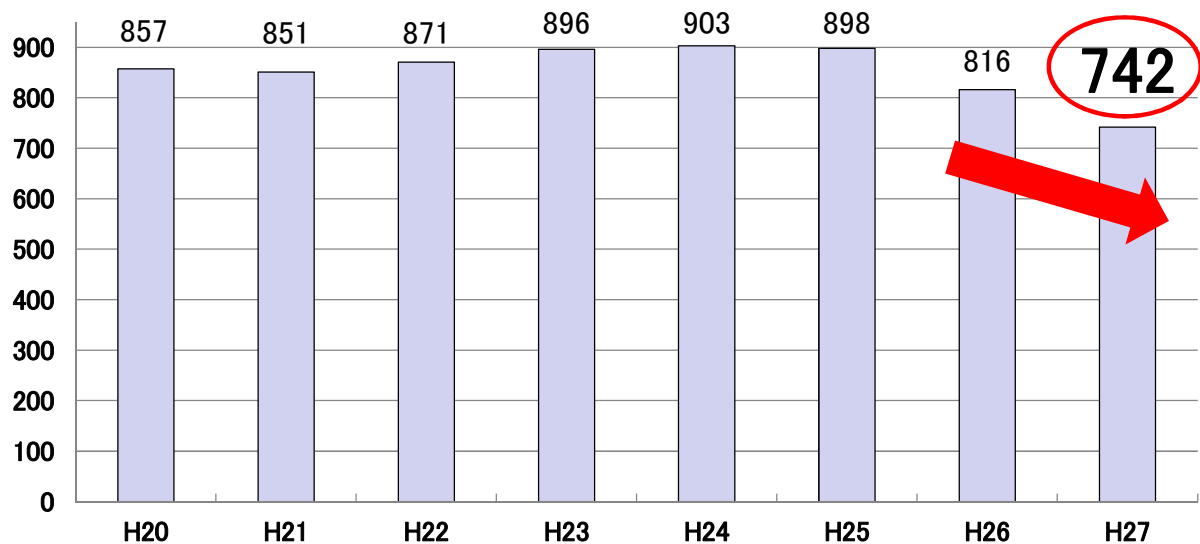
| 項目名 | | 27年度 | 26年度 |
|-------------|---------|--------------|--------------|
| 特定財源 | 国県支出金 | 321 | 266 |
| | 基金繰入金 | 29 | 12 |
| | 市債 | 55 | 30 |
| | その他特定財源 | 89 | 83 |
| 一般財源 | | 1,293 | 1,294 |
| | (うち市税) | (1,075) | (1,085) |
| 合計 | | 1,787 | 1,685 |

13

■健全財政の維持<市債>

●市債(借入金)残高は減少

※決算ベース(H26・27は見込み)(単位:億円)



14

■健全財政の維持<基金>

●基金(積立金)残高は維持

※決算ベース(H26・27は見込み)(単位:億円)



15

■健全財政の維持＜財務体質の強化＞

- 「リ・スタート」を明示した26年度当初予算に引き続き、柔軟で足腰の強い組織へ

○財源(歳入)確保の取組による歳入増

3.7億円

◆財政基盤の強化を図るための歳入確保

普通財産の積極的な売却、市営住宅駐車場使用料の公平性確保ほか

○事業・事務等の見直しによる経費削減

△8.6億円

◆健全財政に向けた取組

補助金・負担金の見直し、リース契約の見直しほか

◆事業・事務の適正化

◆適切なアウトソーシングの推進

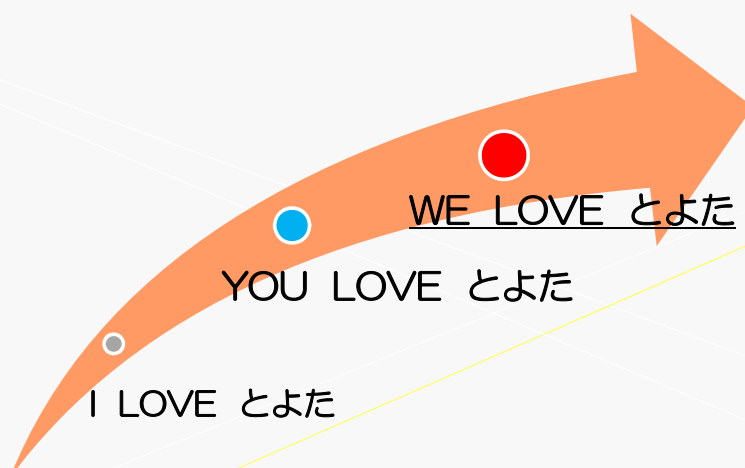
食肉センターの民営化

◆公共施設の配置・規模・運用等の適正化

16

■終わりに

「WE LOVE とよた」は ミライへの投資



持続可能な
豊田市へ！



17